

ASKレポート

Vol.0032

2015年9月7日(月)

担当：MS事業部 玉井

〒460-0002 名古屋市中区丸の内 3-22-21

損保ジャパン日本興亜名古屋ビル1F

ASK 税理士法人

TEL 052-971-1122 FAX 052-971-4488

経済政策の目的を考える

はじめに

中日懇話会にて、同志社大大学院の浜矩子教授の「これからどうなるグローバル経済と日本～明日をどう読む～」を聞いてきました。個人的に安倍政権を支持する立場として、反安倍政権の急先鋒である浜教授が、どのように安倍政権の盲点を指摘するのかを聞くというテーマをもって参加しました。

講師プロフィール

1975年一橋大学経済学部卒業。1975年三菱総合研究所入社。同社初代英国駐在員事務所長兼駐在エコノミストとしてロンドン勤務。帰国後、三菱総合研究所経済調査部長、同社政策・経済研究センター主席研究員を務め、経済動向に関するコメンテーターとして内外メディアに執筆や出演を行っている。2002年秋より同志社大学大学院ビジネス研究科教授に就任。2012年から財務省の財政制度等審議会臨時委員。金融庁金融審議会委員、国税庁国税審査会委員、なども歴任。

経済政策の目的は？

浜教授は、経済政策の目的は「格差均等のため。弱者救済のため。」と主張し、安倍政権の「経済成長をして、それとリンクして外交・国防も強固にする経済政策」はけしからんとも批判していました。

しかし、政策は、国民の安心安全を確保するという目的を達成する手段であると考えるので、弱者救済だけで、日本国土が外部から危機に晒されるような政策では、安心して経済活動ができないのではないかと浜教授の主張に疑問を感じました。経済成長という神話に囚われすぎてはいけないという主張は、成長することが是ではなく、一人当たり所得が重要だと認識しました。

